



平成30年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月15日

上場会社名 株式会社FFRI

上場取引所 東

コード番号 3692 URL <https://www.ffri.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴飼 裕司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 田中 重樹

TEL 03-6277-1518

定時株主総会開催予定日 平成30年6月27日

有価証券報告書提出予定日 平成30年6月28日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期の連結業績(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	1,673		309		309		222	
29年3月期								

(注) 包括利益 30年3月期 222百万円 (%) 29年3月期 百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
30年3月期	27.22	27.20	20.0	13.6	18.5
29年3月期					

(参考) 持分法投資損益 30年3月期 百万円 29年3月期 百万円

(注) 平成30年3月期第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、平成29年3月期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。また、平成30年3月期の自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は、連結初年度のためそれぞれ期末自己資本及び期末総資産額に基づき計算しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
30年3月期	2,283	1,112	48.7	135.89
29年3月期				

(参考) 自己資本 30年3月期 1,112百万円 29年3月期 百万円

(注) 平成30年3月期第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、平成29年3月期の数値は記載しておりません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年3月期	290	69	8	1,983
29年3月期				

(注) 平成30年3月期第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、平成29年3月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
29年3月期		0.00		0.00	0.00	0		
30年3月期		0.00		0.00	0.00	0		
31年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,828	9.3	316	2.1	316	2.1	204	8.2	24.96

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) FFRI North America, Inc. 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期	8,184,000 株	29年3月期	8,120,400 株
30年3月期	株	29年3月期	株
30年3月期	8,174,670 株	29年3月期	8,097,176 株

期末自己株式数

期中平均株式数

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるサイバー・セキュリティ業界は、サイバー脅威が日々増大しており、引き続き標的型攻撃による情報漏えい事件等が多発する中、サイバー攻撃者はインターネットバンキングの不正送金ウイルスからランサムウェア、最近では仮想通貨の採掘を勝手に行うマイニングマルウェアが流行するなど、セキュリティが弱くサイバー攻撃者にとってリスクとコストの少ないターゲットが狙われており、技術革新を進めるIT社会の運営にネガティブな影響を与えている状況です。このような中、政府・官公庁及び大手企業を中心にセキュリティ対策の動きが徐々に広まっており、国内のセキュリティ市場規模は拡大が続いております。しかしながらセキュリティ対策の動きはサイバーリスクの把握と、どのような対策が必要なのか理解できる組織に限られており、多くの組織や個人は対策が十分とは言えず、早急な対応が求められております。

このような環境の中、当連結会計年度の経営成績は以下のとおりとなりました。

セキュリティ・プロダクトにおきましては、法人向けでは政府・官公庁や大手企業のセキュリティ対策の動きを背景に主力の次世代エンドポイントセキュリティFFRI yaraiの売上が引き続き増加しました。昨今では、従来のセキュリティ対策では防ぐことが難しい未知のサイバー脅威に対応する様々な製品及びサービスがセキュリティベンダーから提供されてきております。そのような状況において、サイバー攻撃が増加と高度化をする中、ゲートウェイの対策では守りきれずにエンドポイントでのセキュリティを強化する流れが加速しており、特に当社グループが提供するFFRI yaraiのような、未知のサイバー脅威をエンドポイントで防御する製品を総称してNGEPP (Next Generation Endpoint Protection) と定義され注目されております。

海外につきましては、当社グループは平成29年4月、米国カリフォルニア州にFFRI yaraiの販売会社であるFFRI North America, Inc. を設立し、北米で販売活動を開始しました。販売の状況としては、ユーザーによる製品選定で高い評価をいただくことができるものの、当社グループの認知度は低く、製品評価に至る手前の案件化までの過程に課題が生じております。北米セキュリティ業界の状況は日本国内と同様に新しいサイバー脅威に有効な製品は少なく、FFRI yaraiのような製品には多くのニーズが見込まれます。また、当社グループが北米ユーザーに製品を普及させるにあたっては多くの案件獲得が肝要であり、当社グループはPR活動や展示会への出展等の自社による営業展開に加え、現地セキュリティベンダーとの販売店契約といった外部営業力の活用を含めた営業活動に取り組んでまいりました。

個人向けにつきましては、FFRI安心アプリチェッカーの継続利用が高く推移し、売上が増加しました。当社グループが提供するセキュリティアプリでは、他のジャンルのアプリに比べてユーザーの継続利用率が高く、製品を導入いただくまでのハードルは高いものの、有用性を理解いただいたユーザーは長期に渡り継続利用いただいております。また、当社グループは平成29年12月に個人・小規模事業者向けセキュリティソフトFFRI yarai Home and Business Editionの販売を開始しました。

この結果、当連結会計年度におけるセキュリティ・プロダクトの売上高は1,492,572千円となりました。

セキュリティ・サービスにおきましては、車載セキュリティの関連案件やセキュリティ課題を解決するコンサルティング、受託の研究開発を中心に実施いたしました。

この結果、当連結会計年度におけるセキュリティ・サービスの売上高は181,107千円となりました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高1,673,679千円、営業利益309,444千円、経常利益309,685千円、親会社株主に帰属する当期純利益222,534千円となりました。

なお、当社グループは平成30年3月期より連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較分析は行っておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、2,283,885千円となり、流動資産合計2,154,536千円、固定資産合計129,349千円となりました。

流動資産の主な内訳は、現金及び預金1,983,891千円、売掛金139,704千円であります。

固定資産の内訳は、有形固定資産23,271千円、無形固定資産68,174千円、投資その他の資産37,903千円であります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、1,171,758千円となり、流動負債合計718,468千円、固定負債合計453,290千円となりました。

流動負債の主な内訳は、前受収益575,263千円、未払金58,111千円であります。

固定負債の主な内訳は、長期前受収益442,152千円であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、1,112,127千円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,983,891千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果取得した資金は290,602千円となりました。この主な要因は、売上増加に伴う前受収益及び長期前受収益の増加54,384千円、税金等調整前当期純利益の計上309,685千円、法人税等及び未払消費税等の支払68,653千円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は69,586千円となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出11,037千円、無形固定資産の取得による支出58,517千円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果取得した資金は8,733千円となりました。この要因は、ストック・オプションの行使による株式の発行による収入8,733千円によるものです。

(4) 今後の見通し

平成31年3月期の連結業績につきましては、売上高1,828百万円(前年同期比9.3%増)、営業利益316百万円(同2.1%増)、経常利益316百万円(同2.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益204百万円(同8.2%減)を予想しております。

販売区分ごとの見通しはそれぞれ以下のとおりです。

セキュリティ・プロダクト

国内法人向けにつきましては、研究開発によってサイバー攻撃者を先回りした防御技術を製品に実装していくとともに、FFRI yaraiへのEDR機能追加を始めとしたユーザーニーズへの対応と、ユーザビリティの向上を進める予定です。また、当社グループではこれまで大手SIerの販売パートナーにより、大規模セキュリティシステムを構成する製品としてFFRI yaraiが組み込まれることで販売されるケースが中心となって伸びてきましたが、事業環境が変化する中においてはこれまでの営業方法に加え、当社製品の販売をメインに行う販売パートナーとの連携を強化する予定です。海外向けにつきましては、これまで自社営業リソースによる活動に加えて、ブランド力のある他社リソースの活用を含めて販売量を重視した施策に取り組む予定です。また、北米以外の地域については、欧州を中心に進出の準備を進めており、なるべく早期に展開するべく取り組んでまいります。次に個人向けにつきましては、広く個人ユーザーにリーチできる販売チャネルの確保が重要と考えており、B to B to C の販売チャネルの強化に取り組む予定です。

セキュリティ・サービス

セキュリティ・サービスにつきましては、製品開発リソースを確保するため、投入する開発リソースを制限しつつ、付加価値の高い案件に絞って実施する予定です。内容としましては車載セキュリティ向けの研究開発

を中心に最新のセキュリティ技術の知見獲得に寄与する案件を実施していく予定です。また、同時に車載セキュリティ以外のIoTセキュリティ分野についてもリサーチを進める予定です。

平成31年3月期における売上計画の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区分		平成30年3月期 実績	平成31年3月期 計画	増減比 (%)	
セキュリティ・ プロダクト	法人向け	国内	1,037	1,279	23.3
		海外	2	19	707.4
	個人向け	453	350	△22.7	
セキュリティ・サービス		181	180	△0.6	
合計		1,673	1,828	9.3	

なお、業績見通しの前提となる為替レートにつきましては、1US\$=110円を想定しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

		当連結会計年度 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		1,983,891
売掛金		139,704
製品		392
前払費用		26,466
繰延税金資産		3,982
その他		98
流動資産合計		2,154,536
固定資産		
有形固定資産		
建物		24,959
減価償却累計額		△12,572
建物(純額)		12,387
工具、器具及び備品		22,804
減価償却累計額		△11,921
工具、器具及び備品(純額)		10,883
有形固定資産合計		23,271
無形固定資産		
ソフトウェア		67,969
その他		205
無形固定資産合計		68,174
投資その他の資産		
投資有価証券		300
長期前払費用		252
差入保証金		37,351
投資その他の資産合計		37,903
固定資産合計		129,349
資産合計		2,283,885

(単位：千円)

当連結会計年度 (平成30年3月31日)	
負債の部	
流動負債	
買掛金	1,132
未払金	58,111
未払費用	6,878
未払法人税等	36,240
未払消費税等	27,424
預り金	13,416
前受収益	575,263
流動負債合計	718,468
固定負債	
繰延税金負債	1,653
資産除去債務	9,484
長期前受収益	442,152
固定負債合計	453,290
負債合計	1,171,758
純資産の部	
株主資本	
資本金	285,698
資本剰余金	260,698
利益剰余金	565,756
株主資本合計	1,112,153
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	△26
その他の包括利益累計額合計	△26
純資産合計	1,112,127
負債純資産合計	2,283,885

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	1,673,679
売上原価	206,833
売上総利益	1,466,846
販売費及び一般管理費	1,157,402
営業利益	309,444
営業外収益	
受取利息	18
受取手数料	251
受取保険金	61
その他	1
営業外収益合計	332
営業外費用	
為替差損	91
営業外費用合計	91
経常利益	309,685
税金等調整前当期純利益	309,685
法人税、住民税及び事業税	42,065
法人税等調整額	45,085
法人税等合計	87,150
当期純利益	222,534
親会社株主に帰属する当期純利益	222,534

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
当期純利益	222,534
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△26
その他の包括利益合計	△26
包括利益	222,508
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	222,508
非支配株主に係る包括利益	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	281,331	256,331	343,221	880,885	—	—	880,885
当期変動額							
新株の発行	4,366	4,366		8,733			8,733
親会社株主に帰属する 当期純利益			222,534	222,534			222,534
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					△26	△26	△26
当期変動額合計	4,366	4,366	222,534	231,268	△26	△26	231,241
当期末残高	285,698	260,698	565,756	1,112,153	△26	△26	1,112,127

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	309,685
減価償却費	34,187
受取利息	△18
為替差損益(△は益)	91
売上債権の増減額(△は増加)	△8,588
たな卸資産の増減額(△は増加)	505
未収入金の増減額(△は増加)	32
仕入債務の増減額(△は減少)	△74
前払費用の増減額(△は増加)	△2,089
長期前払費用の増減額(△は増加)	△137
未払金の増減額(△は減少)	△37,350
未払費用の増減額(△は減少)	1,853
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△1,837
未払消費税等の増減額(△は減少)	△32,097
預り金の増減額(△は減少)	7,369
前受収益の増減額(△は減少)	24,570
長期前受収益の増減額(△は減少)	29,814
その他	1,221
小計	327,140
利息の受取額	18
法人税等の支払額	△36,555
営業活動によるキャッシュ・フロー	290,602
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△11,037
無形固定資産の取得による支出	△58,517
敷金の差入による支出	△31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,586
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	8,733
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,733
現金及び現金同等物に係る換算差額	△118
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	229,631
現金及び現金同等物の期首残高	1,754,260
現金及び現金同等物の期末残高	1,983,891

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

当社グループはサイバー・セキュリティ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

b. 関連情報

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	セキュリティ・ プロダクト	セキュリティ・ サービス	合計
外部顧客への売上高	1,492,572	181,107	1,673,679

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	北米	合計
1,671,262	2,416	1,673,679

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高
株式会社ソリトシステムズ	186,196
株式会社インフォセック	179,400

(注) 当社グループは単一セグメントであるため、関連するセグメント名の記載を省略しております。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はありません。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
1株当たり純資産額	135.89円
1株当たり当期純利益	27.22円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	27.20円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	222,534
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	222,534
普通株式の期中平均株式数(株)	8,174,670
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—
普通株式増加数(株)	5,798
(うち新株予約権(株))	(5,798)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在 株式の概要	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。